

平成27年度より新たに、地(知)の拠点大学による 地方創生推進事業(COC+)に参画

千葉科学大学の役割

平成27年度文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択された、千葉大学の「都市と世界をつなぐ千葉地方圏のしごとづくり人材育成事業」に参加大学として参画することとなりました。今後は銚子市をはじめ、事業協働機関と連携して産業振興や研究シーズの提供など、地方創生に向けた取組も行います。

協働機関(2017年1月現在)

COC+校	千葉大学
参加大学等	敬愛大学、千葉工業大学、聖徳大学短期大学部、木更津工業高等専門学校、千葉科学大学
協力大学	放送大学、日本大学生産工学部、城西国際大学
参加自治体	千葉県、銚子市、館山市、勝浦市、南房総市、いすみ市、横芝光町、長柄町、御宿町、木更津市、鴨川市、山武市、東金市
参加企業等	日本政策金融公庫、千葉銀行、京葉銀行、千葉興業銀行、千葉日報社、千葉テレビ放送、サイボウズ、リゾートソリューション、マザアスマイファーム、成田空港活用協議会、横芝光町商工会、自然と共生する里づくり連絡協議会、合同会社SOZO、NPO法人いすみライフスタイル研究所、いすみ市商工会、港の朝市運営委員会、夷隅東部漁業協同組合、いすみ市耕作放棄地対策協議会、千葉県タクシー協会外房支部、いすみ市観光協会、いすみ鉄道株式会社、R project、リソル生命の森、向後米穀、理想郷、アクセルコミュニケーション、ベネッセi-キャリア、勝浦市商工会、ONE勝浦企業組合、NPO法人TINA
その他	横芝敬愛高等学校、千葉県立安房高等学校

事例「地域資源を活用した機能性食品の開発」

命を救う食、危機管理フードの開発に危機管理を学んだ
本学の学生が携わり、実践的な人材育成の他、商品開発を通じて地方創生を推進する。



地域志向教育研究 地域を志向した取組(教育・研究・社会貢献)を実施しています。

(2017年1月現在)

- 地域の子供の健全な育成を促す薬物乱用防止教室の実施
- 地方創生とマーケティングの融合
- 地域内消費を拡大させるためのシステム構築のあり方 -
- 銚子の偉人「濱口梧陵」の教材化とその普及の試み
- 利根川のシジミは復活できるか? : 地質学からの検証
- Girlsキャリアパス講座inCHOSHI~女性が輝く地域づくりを目指して~
- 大吠埼温泉の新価値創出
- 海藻発酵原料の化粧品への応用と有用性評価
- 災害弱者用防災関連支援一聴覚障がいの場合 -
- ウェブを利用した、地域情報および防災・安全情報の活用プロジェクト
- 銚子地域における過去の地震・津波の履歴調査
:過去の津波堆積物の年代に基づいて
- 銚子市内のアライグマ分布状況一斉調査
- 学生と市民の協働による銚子市内での防災啓発活動
- 銚子市内にある地域の助け合いを目的としたグループの関係機関との協働による実態調査
- 中心市街地活性化のための銚子再発見MAPほかの作成取り組み
- 銚子、及び千葉科学大学を英語で学ぶ英語学習教材の開発
- 銚子の土および海に生息する細菌の解析
- 銚子地域における過去1万年間の古環境復元
- 銚子市の自然の魅力を発見する石の楽器(カマサイト)のコンサート
- 銚子市における中小零細企業のブランド構築と地域社会の活性化
- 銚子市民の防災意識向上を支援するための学生防災インストラクター養成の試み。

危機管理学部
3年生 **小倉 寛之**
**銚子の魅力を生かした
防災まちづくり・ひとづくり**

私は危機管理システム学科に所属し、防災全般について学ぶとともに、学内の防災ボランティアサークルの代表として、地域に出向いてさまざまな活動に取り組んできました。その中で、銚子の自然の豊かさや歴史・文化の深さを肌で感じ、地域の方々との交流を通じて、さらに防災活動に取り組む意欲が高まりました。今後は、これらの経験を踏まえて、銚子の魅力を生かしながら、地域が抱える防災上の課題解決に取り組んでいきたいと思っています。

危機管理学部
3年生 **野中 明穂**
**危機管理フード開発と
地域活性化**

私は、学生の立場で、COC+事業の一環である「危機管理フード開発プロジェクト」に参加しています。日頃、大学で学んでいる、防災や危機管理、リスクマネジメントなどの知識や様々なボランティア活動の経験などを通して、学生および女性の目線で、被災当初時に本当に役に立つものを皆で開発しようとしています。銚子の持つ豊富な地域資源、地域の魅力あふれる人々、そして大学が一体となって地域活性化に役立っている、と実感しています。



CIS 千葉科学大学 学外連携ボランティア推進室
〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番
TEL:0479-30-4581 FAX:0479-30-4737 E-mail:renkei@ml.cis.ac.jp

学校法人 加計学園
千葉科学大学

地(知)の拠点大学による 地方創生推進事業(COC+) **地(知)の拠点** 千葉科学大学は千葉大学COC+参加校です

人に優しく 安心して住める地域創り

地域の恩恵を知り 脅威を学び 魅力を生かす

COC事業とは

地域の課題(ニーズ)と大学の資源(シーズ)の効果的なマッチングによる地域の課題解決、更には地域社会と大学が協働して課題を共有し、地域振興策の立案・実施まで視野に入れた取組を進める事業で、文部科学省が平成25年度より開始しました。本学も「地域と共生する大学」として自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めるために、教育カリキュラム、教育組織の改革を行っています。

COC+事業とは

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)を発展させ、自治体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を横断する取組に支援される文部科学省補助事業です。地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。

防災・郷土教育を積み上げた、人に優しい安心して住める地域創り

大学の取組 銚子市には魅力的な資源が多く存在しますが、地域住民・企業等がその恩恵(豊かな自然や誇るべき歴史等)の価値と、地域全体に影響を及ぼす脅威(地震・津波等の自然災害)の危険性に明確には気づいていません。これらの課題解決のため、防災・郷土教育を積み上げ、人が安心して住める地域を創るために、地域の自然・環境や歴史・伝統・産業などの恩恵を知り学ぶ、地域志向の科目を開講。学生の地域社会とのコミュニケーション力を育成し、「地育地就」を進めます。

「銚子学」

地域を知り、地域を体験する全学部必修科目として、1年次対象に行います。

「プロジェクト学習」

2・3年次を対象に、グループ単位で地域の課題を発見し、解決に向けて取り組みます。

「卒業研究」

個人で地域の課題解決に取り組み、地域の活性化を目指します。



教育

研究

● 防災まちおこし研究会

多様な主体(産官学+民)が組織的に協力・連携して、「防災まちづくり」と「まちおこし」両方を同時に実現させるための活動を行います。

● 銚子半島の地質学的研究

地元の小・中学生等を対象に、銚子ジオパークを利用したリテラシー教育法の開発、普及や自学教材による事前学習の効果等に焦点を当て、調査・研究を行います。



● 講演会・ワークショップ、防災士養成講座

市民の防災意識の高揚を図るため、町内会、企業、各種団体等を対象に啓発活動を行います。

● 市内教員向け 銚子ジオパーク解説講座

地元小・中学生への教育実践や小・中学校の教員が銚子ジオパークを利用した体験実習が実践出来るように支援を行います。

社会貢献



包括連携団体及び協力団体

- 銚子市 ● 銚子商工会議所 ● 銚子市観光協会
- 銚子市漁業協同組合 ● ちばみどり農業協同組合
- 銚子市町内会連合協議会 ● 銚子市社会福祉協議会
- 銚子青年会議所 ● 銚子中心市街地活性化研究会
- 銚子ジオパーク推進協議会 ● 銚子ジオパーク推進市民の会

(協力団体)

- 銚子市議会 ● 銚子商工会議所官学連携研究特別委員会



地元7団体との包括連携協定調印(平成26年10月8日)

事例①『銚子学』

『銚子学』とは、地域の課題解決に向け、地域の「恩恵」と「脅威」の両面を学ぶ1年次を対象とした全学部必修科目(新設科目)です。まずは地域を知り、地域を体験することを目的に、座学と実習で構成された銚子学では、講師陣に銚子市長をはじめ、包括連携団体や地元企業等、それぞれの分野に関連する地域の方をお招きし、地域の「土地の成り立ちと自然環境」「歴史・文化・観光」「産業と生活」「医療・福祉」「防災」を知り・学び、銚子ジオパーク見学、ボランティア体験、SGD(Small Group Discussion)、まち歩き実習等の体験を通して地域に出ます。これらを通して、地域の「恩恵」「脅威」を理解し、学内外でのコミュニケーション力を高め、地域志向の意識(関心)を養い、地域の課題解決に資する力の習得が期待されます。



事例②『防災まちおこし研究会』

「防災まちおこし研究会」(千葉県銚子市)は、地域(銚子市)の歴史・文化・産業などの「恩恵」を活かして地域の活性化・愛着の醸成を図りながら、地震・津波など自然災害の「脅威」に備えるための地域の防災力の向上にも取り組むための「防災まちおこしプロジェクト」を企画・実施するとともに、市民の防災意識の啓発や防災教育活動にも取り組んでいます。今後は、防災まちおこし研究会の活動と市内の各種団体による防災・減災+危機管理に関する話題も発信していく予定です。



活動内容

平成27年度に作成した防災啓発リーフレット「銚子・水とともに生きるー太平洋・利根川がもたらした恩恵と災害ー」の大判パネルを作成し、より多くの市民に防災に対する興味・関心を持ってもらうため、市内数ヶ所で巡回パネル展示を行いました。

防災士・消防団員・ジオパーク関係者が参加して、銚子駅周辺地域の防災まち歩きを行い、その後、まちの災害に対する弱点について話し合い・発表をしました。

危機管理(防災・防疫・防衛)の面で優れた功績を遺した銚子の偉人「濱口梧陵」をより多くの市民に知ってもらうため、学生と社会人によるアイデア会議を行い、その中から2つのアイデア「濱口梧陵カレンダーの作成」と「濱口梧陵定食(ランチ)のメニュー開発」の実現に取り組みました。

防災まちおこし研究会構成員
(所属団体名)
銚子市
銚子ジオパーク推進協議会
千葉県立銚子高等学校
銚子青年会議所
犬吠埼プラントン会
絶景の宿犬吠埼ホテル
千葉科学大学

千葉科学大学エクステンションセンター

市民・学生・教員が交流しながら学ぶプラットフォームとして、銚子市の中心部に「千葉科学大学エクステンションセンター」を開設しました。銚子学をはじめ、市民の学びの場として公開講座の実施のほか、防災まちおこし研究会活動の場、小・中学生を対象とした学習支援活動の場などにも活用され、今後の活用にも期待されます。

